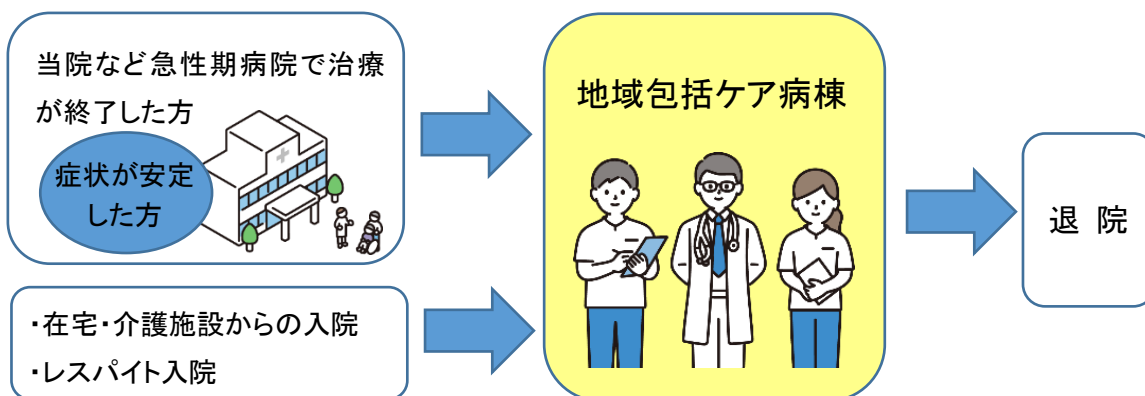


地域包括ケア病棟のご案内

地域包括ケア病棟とは

急性期治療(手術直後や発症後早期の治療が必要とされる期間)を経過して症状が安定した患者さん、在宅や介護施設で体調を崩された患者さんの受け入れを行い、医療チームが患者さん・ご家族と協力して、在宅や介護施設への復帰に向けた医療・支援を行い、安心して退院いただけるようにサポートします。



どんな場合に入院となるのか？

地域包括ケア病棟への入院は、主治医が判断し患者さん・ご家族に提案させていただきます。同意いただけた場合には、急性期病棟から地域包括ケア病棟へ転棟し継続入院となります。主に次のような患者さんが対象です。

- ◆手術や急性期治療後で、もう少し治療や経過観察が必要な方
- ◆一定の治療後、在宅や施設療養に向けて、リハビリが必要な方
- ◆退院に向けて療養準備が必要な方
- ◆在宅や介護施設で体調を崩された方

入院に対する留意点

入院費は定額ですので、ほとんどの費用が含まれています。月の医療費負担条件は定められていますので、一般病棟の場合と負担条件はほぼ変わりません。(急性期病棟と同じく医療保険、高額医療費助成制度の対象となります。)ただし、急性期病棟とは異なり、高額な治療や検査には対応できません。病状の変化により、主治医が集散的な治療が必要と判断した場合、急性期病棟に移動していただくことがあります。入院期間は、最大60日を限度としていますが、できるだけ早期の退院を目標としております。